

授業概要

科目名	作業学実習 I					授業の種類	実習	講師名				
授業回数	23	回	時間数	45	時間	1	単位	必修・選択	必修	配当学年 時期	1年	前期
【授業の目的・ねらい】 作業療法の臨床現場で行われる可能性のある作業活動を行い、作業分析や活動分析、手順、心身に与える影響を考える、理解する。												
【実務者経験】 作業療法士として回復期病棟で3年間勤務し、その後訪問リハビリテーションを経験。身体機能障害、精神障害領域における作業療法に従事。												
【授業全体の内容の概要】 革細工や籐細工など、創作活動を中心に実施。												
【授業終了時の達成課題（到達目標）】 作業活動に必要な心身機能や動作分析、活動によって与えられる心身機能への影響を説明できる。												
回数	講義内容										準備物(教材)	
1	オリエンテーション、作業分析の方法の説明、折り紙										折り紙等	
2	貼り絵										画用紙、折り紙等	
3	貼り絵										画用紙、折り紙等	
4	貼り絵										画用紙、折り紙等	
5	アイロンビーズ										ビーズ、アイロン等	
6	アイロンビーズ										ビーズ、アイロン等	
7	アイロンビーズ										ビーズ、アイロン等	
8	マクラメ										マクラメ材料等	
9	マクラメ										マクラメ材料等	
10	マクラメ										マクラメ材料等	
11	革細工										革材料等	
12	革細工										革材料等	
13	革細工										革材料等	
14	革細工										革材料等	
15	革細工										革材料等	
16	パッチワーク										刺繍道具等	
17	パッチワーク										刺繍道具等	
18	パッチワーク										刺繍道具等	
19	籐細工										籐材料	
20	籐細工										籐材料	
21	籐細工										籐材料	
22	籐細工										籐材料	
23	籐細工										籐材料	
	定期筆記試験											
【使用教科書・教材・参考書】 ゴールドマスター・テキスト作業学第3版（メジカルビュー）												
【準備学習・時間外学習】 資料作成、材料準備等												
【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】 試験の結果を100点満点として成績を評価する。 作業分析の課題の評価を30点、各作業活動の仕上がりの評価を30点、定期筆記試験を40点として合計100点とする。 60点以上の場合に科目を認定する。												